

ヨーロッパ文化にも接して、これ等の優れた文化を有する民族を討ち従へ、高尚な文化の標準は必ずしも漢文化とは限らず、従つて獨り漢文化のみを尊重すべき理由は無かつたので、これが契丹・女眞族等とは大に異つた態度を採る所以であつたと考へる。

それで大體上よく彼等固有の文化——本質的に考へればその中に外來の要素が存するにしても——を維持し、その上に事情に應じて彼等の最も好み、彼等に最も適當した他の文化を取り入れたこと、例へば西藏から喇嘛教を輸入し、それに伴つて西藏字からいはゆる國字を作つて用ひた如き有様である。さて彼等の獨り漢文化のみを尊重するに至らなかつた理由はかく解釋し得るとして、しからば彼等よりも優れた何れの文化に對しても然く著しき同化を示すに至らなかつた異例は如何に解釋すべきであらうか。これについては彼等の經略の大成功の上から、如何なる文化も蒙古族の力の前には何等の權威も有するものでないことを確信してゐるので、自からは世界の征服者たる蒙古族としての誇に充ちてその固有の文化を棄てようとはせず、他の民族の有する文化に對しては、これを尊敬する代りに寧ろ輕侮する態度に出た結果であると思へ得られるであらう。

交通の發達

東方の統一と海陸交通の發達

宋代はいふまでもなく、元代においても蒙古族が支配者として如何なる方針を取つたに拘はらず、漢族の文化現